

空間情報学／ユビキタスマッピング と地域ビッグデータ・エコシステム



有川 正俊

Arikawa Masatoshi

教授 博士（工学）

理工学研究科 数理・電気電子情報学専攻 人間情報工学コース

研究キーワード

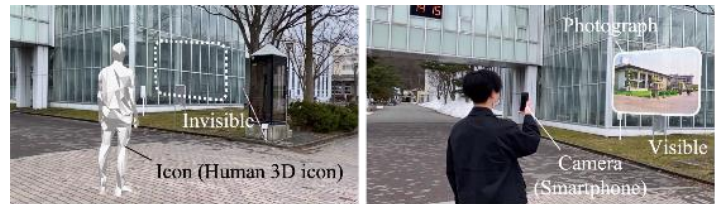
実空間情報サービス, データ駆動型エコシステム, 拡張現実感(AR)

研究概要

近年、観光サービスにおいてもスマートフォンはユーザにとって主要ツールであり、標準搭載されている物理センサー（GPS, 加速センサー等）および社会センサー（SNS投稿等）からさまざまなユーザ行動ログデータを蓄積できる。これらの大規模データから観光者の行動分析を行い、今後の観光政策の改善への社会実装が期待される。本研究室では秋田市などの地方自治体とコラボレーションして「一般公開を前提とした独自の地域観光アプリの開発」や「センサー群からヒトの移動軌跡・振る舞い・興味関心を収集し蓄積する事業者向け観光客分析IT環境の構築」に取り組んできた。また、地域住民が現実世界をフィールドとした新たな生涯・地域教育の機会を享受したり、行動履歴データの寄付を通して地域活性化・学術研究支援へ積極的に参画できる枠組みの議論と実証を進め、観光事業のデータ駆動型エコシステムが健全かつ相互的に構築される社会文化デザインの体系化を研究している。



まち歩きアプリの個人行動履歴データ寄付による地域ビッグデータの構築の試み（協力：秋田市）



AR(拡張現実感)を用いた時空間連動写真提示のデモ

予想される応用例

アナログ観光マップのGPS連動軽量アプリ化
Opt-inデータ寄付による地域ビッグデータ
屋内・屋外AR高精度実空間情報サービス

産業界へのアピールポイント

人間中心デザインのアナログ地図に基づく従来型観光サービスを健全なデジタル化に変革させる低コストDXメタエコシステムの実現
ARに基づく広域高精度実世界型情報サービスの 대중化・持続化

有川研究室 (@ラボ)

研究室ホームページ：<http://top.ie.akita-u.ac.jp/>

※お問い合わせは秋田大学 産学連携推進機構まで



秋田大学
Akita University